

# Microsoft Open Value

## ライセンスング ガイド

### 目次

Open プログラムのメリット.....	2
Open Value のオプション.....	3
Open Value.....	3
Open Value 全体契約オプション.....	3
Open Value Subscription オプション.....	4
マイクロソフト オンライン サービス.....	4
クライアント アクセス ライセンス (CAL) とブリッジ CAL.....	5
適格公共機関、教育機関および非営利団体を対象とするプログラム.....	5
教育機関.....	5
公共機関.....	5
非営利団体.....	6
ソフトウェア アシュアランス.....	6
ソフトウェア アシュアランスの取得.....	6
ライセンス管理.....	7
マイクロソフトボリュームライセンスサービスセンター(VLSC).....	7
発注.....	7
その他のリソース.....	7
付録.....	8
必要なライセンスの決定.....	8
製品群.....	8
製品.....	8
バージョン.....	8
エディション.....	8
オンライン サービス.....	8
製品タイプ.....	9
ソフトウェア アシュアランス.....	9

マイクロソフトの Open Value プログラムと Open Value Subscription オプションは、中堅中小規模組織のお客様がマイクロソフトの最新のテクノロジーとクラウド サービスを入手するための便利で簡単な方法です。Open Value または Open Value Subscription オプションを選ぶことで、所有するライセンスを追跡しやすくなり、コンプライアンス リスクを軽減して、組織のことに集中する時間をさらに確保できるようになります。

## Open プログラムのメリット

Open Value 契約には、次のようなさまざまなメリットがあります。

**シンプルなライセンス:** 発注を行い、直ちにライセンスを取得した製品の使用を開始できます。必要に応じて購入する柔軟なモデルにより、予測が不要になります。

**柔軟なライセンス:** Open Value では単一プラットフォーム オプションが提供され、1 つのプラットフォームの下で Windows デスクトップオペレーティング システム アップグレード、Microsoft Office、Office 365 および Client Access License (CAL) からコンポーネントを選択することができます。

企業向けソリューションを必要としている場合は、最新の Microsoft Office Professional Plus、Office 365 または Microsoft 365 の各プラン、Enterprise CAL、Windows Enterprise をご利用いただけます。

**管理可能なライセンス:** オンライン追跡ツールにより、ライセンスの管理が簡単かつ便利になります。ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) を使用すると、ライセンス情報の確認、マイクロソフトのライセンス取得済みソフトウェアのダウンロード、ソフトウェア アシユランスの特典とサブスクリプションの管理をオンラインで簡単に一元的行えます。

**手頃な価格のライセンス:** ソフトウェアの調達予算の用途を、製品版ライセンスの購入以外にも広げることができます。シンプルな入手方法で、必要なときに必要な分のお支払いが可能となるため、ソフトウェアに対するニーズを柔軟に管理できるようになります。

**クラウド サービス サブスクリプションの購入:** Open Value プログラムを通じてライセンスを購入しているお客様は、オンプレミス ソフトウェアと同じ契約で一部のマイクロソフト クラウド サービスを購入できるため、お客様のペースでクラウドへの移行を進められます。Open Value プログラムを通じてオンライン サービスのサブスクリプションを購入すれば、Microsoft Office 365 などのサービスを職場の内外で複数のデバイスからシームレスに使用することができます。ただし、地域による制限が適用されます。

---

*注: ソフトウェアのライセンスを大量に取得し、複数のデバイス上のソフトウェアを管理している公共機関、教育機関、非営利団体のお客様は、マイクロソフト ボリューム ライセンス契約を利用することで、ライセンスやオンライン サービスを最もコスト効果の高い方法で入手できる場合があります。詳細については、サービス プロバイダー パートナーにお問い合わせください。*

---

## Open Value のオプション

マイクロソフトは、中小規模組織のお客様が、ライセンス取得についてさまざまなニーズをお持ちであることを認識しています。Open Value と Open Value Subscription の契約は、プログラムの仕様が多くの点で共通していますが、ライセンス購入オプションに違いがあります。これらのオプションにより、お客様固有のニーズに適した契約をご利用いただけます。

Open Value のオプション	
→ ユーザーが 5 ~ 250 人の組織向け	→ 5 ライセンスからの購入
→ 公共機関と教育機関の選択肢を提供	→ クラウド サブスクリプションの購入が可能

  

Open Value	Open Value Subscription
永続ソフトウェアの権利	サブスクリプション ソフトウェア
付属: ソフトウェア アシユアランス	付属: ソフトウェア アシユアランス
前払い、または年額払い	年額払い
全体契約オプションあり	全体契約が必須

## Open Value

Open Value は、3 つ以上のユーザー数/デスクトップ数、ライセンス管理の簡略化、ソフトウェア コストの管理、投資的的確な制御をご希望の中小規模組織のお客様に推奨されるプログラムです。Open Value にはソフトウェア管理の各フェーズにおけるソフトウェア購入費用を最大限に活用することができるソフトウェア アシユアランスが含まれています。また、トレーニング、導入計画、ソフトウェアアップグレード、製品サポートなどの価値のある特典により、組織全体の生産性を高めることができます。

### Open Value 全体契約オプション

Open Value の全体契約オプションでは、一般企業および公共機関のお客様に対して、1 つ以上のマイクロソフト エンタープライズ製品ですべてのユーザー/デバイスを標準化する場合に追加割引が提供されます。Open Value の全体契約を選択すると、単一プラットフォーム オプションを利用してマイクロソフトの最新のライセンス製品の権利を取得できます。なお、全社契約オプションは、Open Value for Academic 契約では利用できません。

単一プラットフォーム オプションでは、Windows オペレーティング システム、Microsoft Office、Office 365/CAL の製品群に加えて、お客様の契約に含まれる他の製品 ([製品条項](#)に記載されている最新バージョンのプラットフォーム製品を含む) からコンポーネントを選択し、デバイスをカスタマイズできます。

## Open Value Subscription オプション

全体契約オプションと同様に、Open Value Subscription では、デスクトップ PC 1 台ごとに単一の価格で支払いを行い、マイクロソフトのテクノロジーを組織の標準として展開できます。Open Value Subscription は、デスクトップ PC の数が減少した年にライセンスコストの総額を削減できるという柔軟性を備えているため、Open Value のオプションの中で最も初期費用を抑えられます。このオプションでは、お客様はマイクロソフトとの契約期間中に限り、組織全体でソフトウェアを実行することができます。また、単一プラットフォーム オプションを Open Value Subscription 契約に追加することもできます。Open Value Subscription は、非営利団体のお客様には提供されませんが、教育機関のお客様には Open Value Subscription for Education Solutions 契約を通じて提供されます。

契約の初年度に製品のライセンスを注文する際、対応する対象製品のライセンスを所有していれば、Open Value Subscription を通じて「Up-to-Date 割引」を利用できます。

**注:** 対象となる公共機関のお客様は、1 年間の Open Value Subscription オプションを利用できます。このオプションにより、公共機関は 1 年または 3 年の契約期間を柔軟に選択することで、公共機関の調達要件を適宜調整することができます。1 年オプションでは Up-to-Date (UTD) 割引はご利用いただけません。お客様は買取時に 3 年以上継続して Open Value Subscription を購入していなければなりません。

Open Value for Government は、一部の地域ではご利用いただけません。各国の提供状況については、マイクロソフト リセラーまでお問い合わせください。

## マイクロソフト オンライン サービス

クラウド コンピューティングのさまざまなメリットを取り入れて IT 戦略を進化させているお客様は、マイクロソフトがサブスクリプション サービスとしてホストするクラウド サービスを活用して、これまでに投資したテクノロジーの性能と機能を拡張することができます。Open Value 契約では、ユーザーのタイプに合わせて異なるソフトウェアやサービスを選択できるほか、IT 部門やユーザーのニーズに対応するサブスクリプションを購入してテクノロジーへの支出を最適化したり、お客様が導入しているマイクロソフトのすべてのソフトウェアやサービスのコンプライアンス管理と資産管理を効率化したりできます。発注を行うと、お客様とリセラーに対してオンライン サービスのライセンス認証を行う方法が記載されたメールが送信されます。詳細については、[オンライン サービス条件](#)を参照してください。

クラウド サービスのライセンスは、サブスクリプション期間中にオンライン サービスを使用できるユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) です。サブスクリプションの期間は 12 か月間で、開始日と満了日はお客様のライセンス契約とは独立しています。

## クライアント アクセス ライセンス (CAL) とブリッジ CAL

---

組織内のワークステーションがネットワークで接続されている場合、通常お客様はネットワークサーバーソフトウェアを利用して、ファイルやプリンターの共有など特定の機能を実行します。こうしたサーバーソフトウェアの利用には、クライアントアクセスライセンス(CAL) が必要となることがあります。CAL スイートは、オンプレミス展開の複数のライセンスと同等の使用権を提供する単一のライセンスです。CAL スイートを利用することにより、サーバー上のマイクロソフト製品へのアクセスに必要なライセンスの数が減るため、ライセンスの取得や管理が容易になります。また、同等のコンポーネントのライセンスを個別に取得する場合よりも低価格でご購入いただけるというメリットもあります。

Microsoft CAL Suite Bridge は、CAL Suite (オンプレミス) から、同等の製品とオンライン サービスの組み合わせに移行する場合に使用します。Bridge CAL は Open Value および Open Value Subscription を通じて利用でき、プラットフォームの対象範囲を維持しながら、より簡単でコスト効率よくオンプレミス ソフトウェアからクラウド サービスに移行することができます。Bridge CAL を利用すると、たとえば Microsoft 365 プランなど、サブスクリプションを購入する予定のクラウド サービスを通じて、ライセンスをまだ取得していない CAL Suite ワークロードのライセンスを取得し、アクセスを維持することができます。

CAL スイートとブリッジCAL の詳細については、[こちらのページ](#)をご参照ください。

## 適格公共機関、教育機関および非営利団体を対象とするプログラム

適格の公的機関および民間団体は、特別な価格レベルを利用することができます。これらのオファーは、国によってはご利用いただけない場合があります。利用可能かどうかはリセラーにご確認ください。

### 教育機関

---

マイクロソフトは、教育機関のお客様にライセンス ソリューションを提供すべく尽力しています。Open Value for Academic や Open Value Subscription for Education Solutions などの教育機関向けライセンス オプションの詳細については、[www.microsoft.com/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries](http://www.microsoft.com/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries) をご覧ください。

資格要件については [www.microsoftvolumelicensing.com/DocumentSearch.aspx?Mode=3&DocumentTypeId=7](http://www.microsoftvolumelicensing.com/DocumentSearch.aspx?Mode=3&DocumentTypeId=7) をご覧ください。

### 公共機関

---

適格の公共機関が、Open Value for Government の対象となります。公共機関向けライセンス オプションの詳細については、[www.microsoft.com/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries](http://www.microsoft.com/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries) をご覧ください。

資格要件については [www.microsoftvolumelicensing.com/DocumentSearch.aspx?Mode=3&DocumentTypeId=6](http://www.microsoftvolumelicensing.com/DocumentSearch.aspx?Mode=3&DocumentTypeId=6) をご覧ください。

## 非営利団体

---

適格非営利団体は、Open Value for Nonprofits で特別価格を利用できます。非営利団体向けライセンス オプションの詳細については、[www.microsoft.com/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries](http://www.microsoft.com/licensing/licensing-programs/licensing-for-industries) をご覧ください。

資格要件については、[www.microsoftvolumelicensing.com/DocumentSearch.aspx?Mode=3&DocumentTypeId=19](http://www.microsoftvolumelicensing.com/DocumentSearch.aspx?Mode=3&DocumentTypeId=19) をご覧ください。

## ソフトウェア アシュアランス

マイクロソフト ソフトウェア アシュアランスは、導入や生産性向上を支援する特典、最新ソフトウェアの使用権、独自のテクノロジーなどをすべて 1 つにまとめて提供するコスト効果の高いプログラムです。これらを利用してマイクロソフトのソフトウェアやオンライン サービスを最大限に活用することで、組織全体の生産性を高めることができます。ソフトウェア アシュアランス特典によって、組織に以下のようなメリットがもたらされます。

- 新たにリリースされたソフトウェアを利用できる権利や低コストでアップグレードできる権利を利用して、ソフトウェアやサービスのコストを削減できます。
- ソフトウェア アシュアランスのお客様だけが利用できる独自のツールや使用権を入手できます。
- 仮想化や、Windows および Office のローミング使用権によって、ユーザーは自分の好きな場所で、ライセンス取得済みの幅広いデバイスから作業できるようになり、ワーク スタイルの充実を図れます。
- 独自のテクノロジー、ライセンス権、サポート リソースを利用して、業務を効率化し、IT インフラストラクチャの可用性と即応性を維持できます。

ソフトウェアやサービスの導入、管理、使用、移行に関するカスタマー エクスペリエンスはお客様ごとに異なりますが、ソフトウェア アシュアランスを通じてすべてのお客様がビジネスを最適化するための手段を得られるようになります。マイクロソフトでは、シンプルで効果的なこの一連の特典をオンプレミス ソフトウェアとオンライン サービスの両方で提供することで、お客様の組織の成長と適応に合わせてニーズをよりの確にサポートできるようになると考えています。

## ソフトウェア アシュアランスの取得

ソフトウェア アシュアランスの対象範囲は、Open Value 契約または Open Value Subscription 契約のすべての期間に含まれています。Open Value を通じて提供されるソフトウェア アシュアランス特典の詳細については、[www.microsoft.com/softwareassurance](http://www.microsoft.com/softwareassurance) を参照してください。

ソフトウェア アシュアランスを単独で購入するには、システムまたはサーバー ソフトウェア製品を小売フルパッケージ製品 (FPP) として購入するか、(ハードウェアの) OEM から購入する必要があります。ソフトウェア アシュアランスを追加できるのは、これらを購入してから 90 日間です。

## ライセンス管理

ソフトウェア ライセンスの管理は、オンライン ツールによってこれまでより簡単になりました。

### マイクロソフトボリュームライセンスサービスセンター(VLSC)

---

マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) を利用すると、Open Value 契約の管理、ライセンスを取得した製品のダウンロード、ソフトウェア プロダクト キーへのアクセスを簡単に行えます。このサイトでは、マイクロソフト ライセンス ステートメントをカスタマイズできます。この使いやすいレポートにより、契約全体のボリューム ライセンスの利用資格についてリアルタイムで算定結果を把握できます。また、これを使用して、ソフトウェア アシュアランス特典を簡単に特定し、有効化することもできます。マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センターには、[www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx](https://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/home.aspx)からアクセスできます。

VLSC にログインするには Microsoft アカウントが必要です。

### 発注

---

Microsoft Open Value プログラムでのボリューム価格については、お近くのマイクロソフト リセラーへお問い合わせください。マイクロソフト リセラーを見つけるには、<https://www.microsoft.com/ja-JP/solution-providers/home>をご覧ください。

## その他のリソース

Open Value:

<https://www.microsoft.com/licensing/licensing-programs/open>

マイクロソフト ボリューム ライセンス:

[www.microsoft.com/ja-jp/licensing](https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing)

ソフトウェア アシュアランス:

[www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx](https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx)

マイクロソフト製品条項:

[www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/products.aspx](https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/products.aspx)

公共機関向け、教育機関向け、非営利団体向けボリューム ライセンス:

[www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx](https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/licensing-for-industries.aspx)

## 付録

### 必要なライセンスの決定

---

ソフトウェア製品のライセンスは、製品群、製品、バージョン、エディション、製品タイプという 5 つの要素に大きく分けることができます。

#### 製品群

マイクロソフトのソフトウェア プログラムおよびクラウド サービスは、次の 3 つの製品群のいずれかに該当します。

**アプリケーション:** マイクロソフトのアプリケーションの例としては、Office スイート、Microsoft Visio 描画および作図ソフトウェア、Microsoft Project などがあります。Microsoft Visual Studio 開発システムなどの開発ツールおよびユーティリティも、マイクロソフトのアプリケーション製品群に含まれます。

**システム:** マイクロソフトのデスクトップ PC オペレーティング システム ソフトウェア プログラムの例としては、Windows Professional アップグレードなどがあります。

**サーバー:** マイクロソフトのサーバー ソフトウェア プログラムの例としては、Microsoft Exchange Server、Microsoft SQL Server データベースソフトウェア、Windows Server オペレーティング システム、Office 365 サブスクリプションなどがあります。

#### 製品

製品ソフトウェアには、Microsoft Office、Visual Studio、Windows、SQL Server などがあります。

#### バージョン

バージョンによりさまざまな製品リリースが区別されています (例: Microsoft Office 2019 と Microsoft Office 2021)

#### エディション

エディションは、製品に含まれる機能やアプリケーションのレベルを指定するものです (例: Microsoft Office Standard 2021 には Microsoft Word、Microsoft Excel スプレッドシート ソフトウェア、Microsoft Outlook メッセージングおよびコラボレーション クライアント、Microsoft PowerPoint プレゼンテーション グラフィックス プログラム、Microsoft Publisher が含まれ、Microsoft Office Professional 2021 には Word、Excel、Outlook with Business Contact Manager、PowerPoint、Microsoft Access データベースソフトウェア、Microsoft Teams、Microsoft Publisher が含まれます)。

#### オンライン サービス

マイクロソフトがクラウドでホストするマイクロソフト製品で、サブスクリプションサービスとして提供されます。オンラインサービスの例としては、Microsoft Office 365 やEnterprise Mobility + Securityなどが挙げられます。

## 製品タイプ

**ライセンス**は、発注された製品の特定のバージョン (例: Microsoft Office Professional 2021) を実行する権利を提供するものです。Open Value プログラムは永続的な使用権を提供します。ソフトウェア アシユアランスをお持ちのお客様は、契約満了時点で利用可能な最新の製品バージョンに対する永続的な使用権を取得します。Open Value Subscription は、契約期間中に限り、最新の製品バージョンに対する使用権を提供します。

## ソフトウェア アシユアランス

対象となるライセンス製品についてソフトウェア アシユアランスを発注できます。ソフトウェア アシユアランスによりアップグレードの権利を取得し、その期間を通じてマイクロソフトが提供する最新バージョンの製品を実行することができます。ソフトウェア アシユアランスは、Open Value プログラムと Open Value Subscription に標準で含まれます。

**注:** オプションとルールは製品によって異なります。

© 2022 Microsoft Corporation. All rights reserved.このドキュメントは情報提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトの代理店を通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。